

自立支援・重度化防止の取組報告書

法人名	株式会社ビーナス	事業所名	ビーナスプラス長田
サービス種類	地域密着型通所介護	事業所住所	〒653-0024 兵庫県神戸市長田区浜添通3丁目4-10
取組分野		取組期間	令和6年11月1日 令和7年10月31日
<input checked="" type="checkbox"/> 機能訓練 <input checked="" type="checkbox"/> リハビリテーション <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> 栄養ケア <input type="checkbox"/> その他 ()			
自立支援・重度化防止の取組（概要）			
<p>この取り組みは、単なる機能回復を目指すものではありません。入浴という極めてプライベートな行為において、「自分の力でできる」という自信（尊厳）を取り戻すことを目的としています。「介助されるのが当たり前」という固定概念を払拭し、お一人おひとりの可能性を最大限に引き出すことで、ビーナスが掲げる「超健康社会」の実現へ貢献します。機能訓練で獲得した動作を実際の入浴場面で即座にチャレンジしていただくことで、「できる動作を確実に積み上げる」支援を標準化している。多職種による環境調査やご家族への介助指導も一体的に行い、住み慣れた環境での入浴継続を見据えた支援を行っている。心身の機能維持・向上だけでなく、入浴を通じて「明日も自分の家で過ごせる」という安心と自信を提供し、重度化防止に努めてまいります。</p>			
自立支援・重度化防止の取組（具体的内容）			
タイトル	お風呂を最高のリハビリに。超健康社会を支えるビーナスの「一生自分らしく」を支える支援		
きっかけ（経緯）	入浴介助加算（Ⅱ）の算定を契機に、入浴を単なる介助ではなく自立支援の機会と捉え直した。通所での関わりを通じ、在宅領域でも機能改善や動作獲得が可能であると実感し、多職種で評価・支援方針を共有する体制づくりが必要と考え、本取組を開始した。		
取組の特徴	入浴動作を工程ごとに分解し、多職種で評価・意見交換しながら、できる動作を確実に積み上げることで自立支援を実現した。		
内容、事例（詳細）			
<p>入浴自立支援を通じた「超健康社会」への貢献と、その客観的成果についての報告。</p> <p>当事業所が入浴介助加算（Ⅱ）を算定する中で、「入浴を事業所内で完結するサービスではなく、生活の場へ還元すべき生活行為」と位置づけ、環境調査・家族指導・機能改善・多職種連携を一体的に実施している。単一の成功事例への対応ではなく、入浴サービスを利用するすべての「ご利用者様」を対象に、同一の視点と手順で実施している点を特徴としている。</p> <p>当事業所では、開所から現在までに228名と契約しており、そのうち約70%が本サービスを利用している。入浴開始時および状態変化時には、理学療法士・看護職員・介護職員（リハビリアシスタント）・生活相談員による多職種アセスメントを必ず実施し、支援方針を共有している。理学療法士が身体機能や動作能力を評価し、看護職員が医学的視点からリスク管理を徹底したうえで、具体的な介助方法や注意点をリハビリアシスタントへ伝達する。洗体・更衣・跨ぎ動作などの進捗は定期的に全職種で共有し、課題に応じてマシン運動等に改善要素を組み込み、再評価と修正を繰り返している。</p> <p>リハビリアシスタントは、機能訓練で獲得した動作を実際の入浴場面で即座にチャレンジしていただくことで、「できる動作を確実に積み上げる」ことを基本方針としている。例えば更衣では、伸縮性のある衣類をご用意いただく等の環境調整を行い、「どの位置を掴めば頭から脱げるのか」を毎回実地で試行錯誤する。洗身・洗髪においても、身体をパーツごとに細分化し、一箇所ずつ指示を入れながら反復練習を行うことで、段階的に全身の自立へと繋げている。また、道具や環境の選定も重要な支援と捉えている。ワンタッチシャワーヘッドの導入やドライヤースタンドの活用、吸水性の高いタオルの選定など、ご利用者様と共に「使いやすい環境」を追求している。こうした関わりは、自宅環境下でのシャワー浴再獲得だけでなく、施設での浴槽入浴における「浴槽台なしでの立ち上がり」への挑戦など、常に「今の壁を少し超える」意欲を引き出している。</p>			

このような取組の結果、入浴サービス利用者のうち約15%（24名）が、自宅や銭湯において自立、あるいは適切な家族介助のもとでの入浴を再獲得された。「できた」という実感が、年齢の壁を超え、こころが成長し、明日にワクワクする「超健康」な状態を創り出すと信じている。

この事業所全体の取組による成果は、データとしても明確に現れている。別添資料の通り、当事業所のADL合計点は2025年5月から急激な伸びを見せ、現在は全国平均を大きく上回る水準に到達した（図1参照）。身体機能の向上を数値に留めず、ご家族と共に「生活の喜び」へと還元するこの取組を、今後も「超健康社会」の実現に向けて継続していく。

